

平成 28 年度 日本神経生理検査研究会 通常総会開催のご案内

日本神経生理検査研究会 会長 高橋 修

会員の皆様におかれましては、ますますのご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、今年は熊本での大地震や北日本にはあまり上陸しない台風など多くの自然災害が発生しております。まずは災害地の皆様へのお見舞いと早い復興を心よりお祈り申し上げます。

臨床検査を業務とする本研究会は災害とは医療分野として密接な関係にあることもあり、災害復興に少なからずお役に立てれば幸いと考え、かねてより会員の浄財による義援金活動を行っており、今年度も計上させていただいたことを報告するとともに、協力していただいた皆様には心より感謝申し上げます。

さて、本研究会は平成 7 年に第 1 回目の研修会を千葉県で開催し、その後、組織を編成を行い、20 年の歳月を経て会員数が 600 名を超える団体に成長いたしました。これも各支部を運営している皆様が神経生理検査を愛し極めることと、会員間の交流を地道に行ってきた結果です。

このような活動は日本臨床神経生理学会にも認められ、現在では理事 1 名、代議員 15 名が在籍しており、さらには各委員会に技術師の委員として登録されるまでになっております。

また、日本臨床衛生検査技師会では、生涯教育研修制度認定団体として登録され、多くの会員が技師会の学術活動に参加し、27 年度は神経生理分野の教本作成や精度管理事業、研修会等で年間を通して活躍していることは、当会としても誇りに感じているところです。

さて、平成 27 年度の活動は、第 20 回全国研修会を始めとし、各支部で研修会が行われ、内容の充実した講義や実技、そして多くの人的交流と情報交換がありました。とくに全国研修会は当会の発祥の場であり、20 回の節目を迎えたことは実に感慨深いものがあります。また、組織としてのまとめと会員の交流をさらにアップさせる意味も含めて会員名簿の作成を行い、皆様のお手元に配布させていただきました。当会はこれからも可能な限り、会員の皆様が交流 できる場を提供して参る所存です。

平成 28 年度の総会は例年通りの「電子総会」で、会期は平成 28 年 9 月 19 日～平成 28 年 10 月 2 日の 14 日間といたします。インターネットを通してご意見などを賜りたいと存じますので、ぜひ、多くの会員がご参加くださるようお願い申し上げます。

執行部一同は今後も皆様が神経生理検査の情報を十分に知っていただけるように、一生懸命取り組んで参る所存ですが、会員の皆様にも、これまでよりも増して当会を盛り上げていただけますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

最後になりますが、私、高橋 修は 3 月で市川市リハビリテーション病院を定年退職し、4 月から慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室に再就職いたしましたことを報告するとともに、皆様にはこれからも変わらぬご指導の程をよろしくお願い申し上げます。

平成 28 年度日本神経生理検査研究会 通常総会(電子会議方式) 式次第

- 1) 議長選出
- 2) 議案の提案と審議検討 (会期:平成 28 年 9 月 19 日～平成 28 年 10 月 2 日) 14 日間
 - (1) 1 号議案
平成 27 年度事業報告、収支決算、監査報告(H27.4.1-H28.3.31)
 - (2) 2 号議案
平成 28 年度事業計画案、予算案 (H28.4.1-H29.3.31)
 - (3) 3 号議案
平成 28 年度年役員信任案
- 3) 審議と採択(当会ホームページより投票):議案一括採択方式とする
会則第 5 章 18 条『総会成立は、会員数の 1/10 の投票参加で成立とし、可否は投票数の過半数で決す』
- 4) 採択結果報告(ホームページにて中間報告と最終報告)

1号議案

平成 27 年度事業報告及び収支決算 (H27.4.1-H28.3.31)

【 I 事業報告】

1) 評議委員会の開催

- ・平成 27 年度通常総会開催に先立ち、議案書(案)の審議を(H27.6.14-6.21)に開催した。
- ・提出した議案書についてほぼ変更することなく承認が得られた。

2) 平成 27 年度通常総会を電子会議形式にて開催 (H27 年 6 月 24 日～7 月 8 日, 14 日間)

期間中会員数推移:H27 年度年会費納付会員 455 名, 未納会員 139 名

(1) 執行部推薦にて片山副会長を議長とし H27.6.24 に通常総会(電子会議形式)を開会した。

H27.6.28 に会員数の 1/10 を越える 67 票(総会員数 455 名)となり総会成立を宣言。

(2) 投票の中間報告をメーリングリストにて4回, ホームページ2回の広報を行った。

(3) H27.7.11 閉会した。最終結果は総投票数 246 票(すべて「議案書承認」票、投票率 54%)

会則第 5 章 18 条『総会成立は、会員数の 1/10 の投票参加で成立とし可否は投票数の過半数で決す』の規定により平成 27 年度総会議案書は承認された。

(4) 最終投票支部別結果をホームページにて広報した。

3) 執行部会の開催(H27.8.21、東北大学医学部保健学科 1 階 会議室)

出席者:高橋、河島、水野、三浦、石郷、瀬川(skype 参加)

- ・新役員役割分担の検討と副会長の業務内容の検討
- ・次回(H28 年)の研修地区は九州とし、H29 年度は中部地区を予定する。
- ・テキスト配布は会員サービスとして紙媒体は必要だが、会員施設内印刷は難しくなりつつあり今年度から有料にて印刷製本を依頼する方法をとりたい。今後はダウンロードも考慮する。

4) 日本神経生理検査研究会会員名簿の発行 (H27.6.23 発送)

総会開始直前であったが、H27.6.20 現在の会員情報に基づいて、会員番号:氏名:所属:ML 登録有無の 4項目を表示した会員名簿を作成した。配布数は 647 通であった。

総会案内も同封したことで、今年度の総会投票率増加に寄与したと思われた。

【Ⅱ. 平成27年度決算報告】

平成 27 年収支決算書 (H27. 4. 1～H28. 3. 31) (会員数 594 名) 単位 (円)

収入の部	予算	決算	決算明細
1. 会費	600,000	660,000	会費、入会金合計。 複数年度納入があるため会員数の乗算ではない。 H26 年年会費¥500×12 名、 H27 年年会費¥1000×594 名、入会金¥1000×60 名
2. 事業収入	380,000	194,000	平成 27 年度日本神経生理検査研究会研修会参加費 会員¥3000×43 名、非会員¥5000×13 名
3. 雑収入	200	237	利子(113+124)
1. 2. 3. の小計	980,200	854,237	
4. 前年度繰越金	699,323	699,323	
1. 2. 3. 4 の合計	1,679,523	1,553,560	

支出の部	予算	決算	決算明細
1. 事業費	923,000	893,822	
H27 年度全国研修会 運営費	538,000	194,000	補足:H27 年度全国研修会は参加費と補助金で運営した。 明細:講師料(医師 2 名分・交通費・宿泊費込)¥83000, 講師料(技師 2 名分・交通費・宿泊費込)¥52500, 講師懇親会費¥12000, 印刷代諸経費¥43416, たれ幕ポスター類 ¥4599, 会場費¥26872, 実務委員活動費(交通費・宿泊費込)(7)¥33000, 総会事務費(5)¥211500, 弁当菓子 ¥23774, 消耗品¥7246
全国研修会補助	50,000	303,907	
表彰	10,000	0	
会員名簿発行・配布	100,000	98,915	647 部
支部活動補助金	275,000	297,000	¥500×594 名
2. 事務費	142,000	52,361	
会議費	30,000	30,000	執行部活動費
通信費	12,000	12,000	執行部通信費
執行部行動費	50,000	0	
消耗品費	20,000	10,361	印鑑×2、HP 維持ソフト
案内通信費	20,000	0	
予備費	10,000	0	
1. 2. 支出小計	1,065,000	946,183	
3. 次年度繰越金	614,523	607,377	
1. 2. 3. の合計	1,679,523	1,553,560	

[学術活動]

1. 全国主催

1) 平成 27 年 8 月 22 日(土):平成 27 年度第 20 回全国研修会,

会場東北大学医学部保健学科 1F 大講義室

講師:佐々木達也先生(青森県立中央病院)、中里信和先生(東北大学てんかん学分野)等
東北支部で初めての全国研修会開催で支部の会員の協力により盛会に終了

2. 支部主催

1) 北海道支部

- (1)平成27年9月12(土)～13日(日)、第61回神経生理検査勉強会(第19回宿泊研修セミナー)
会場:登別プリンスホテル石水亭
テーマ「神経伝導検査と認定資格について」
- (2)平成28年3月26日(土)、第62回勉強会、会場:北海道大学医学部臨床大講堂
テーマ「SEPの基礎と臨床～診断と治療に活かす誘発電位～」
講師:園生雅弘先生(帝京大神経内科)

2) 東北支部

第20回全国研修会と共催で開催した

3) 関東甲信越支部

- (1)平成27年10月11日(日)、第25回勉強会、会場:山梨勤労医療協会共立歯科センター5F大会議室
テーマ:「基礎から学ぼう～脳波検査の電極の装着から判読まで～」
・実践的なハンズオンを中心に大盛況でした
- (2)平成28年2月21日(日)、第26回神経生理検査勉強会、会場:昭和大学病院臨床講堂
テーマ:「スキルアップへの一歩」
講師:桑原聡先生(千葉大神経内科)等

4) 中部支部

- (1)平成27年8月29日(土)、第24回勉強会、会場:名古屋市立大学11F講義室A
テーマ:「神経生理検査のstep up～新たな発見～」
講師:久保田有一先生(朝霧台中央総合病院)等
- (2)日時:平成28年4月2日(土)第25回勉強会、会場:名古屋市立大学11F講義室A
講師:中里信和先生(東北大学てんかん学分野)等

5) 近畿支部

- (1)平成28年3月19日(土)、第5回研修会、会場:伊藤忠メディカルプラザ3F 神戸
テーマ:「メディカルスタッフとして臓器移植医療の全体像を学ぼう～TPMモデルを交えて」
講師:吉永和正先生(協和マリーナホスピタル院長)、吉川美喜子先生(神戸大学腎臓内科)、竹田洋樹先生(兵庫県加古川医療センター救急集中治療科)等
・従来のハンズオンを超えた対話型グループディスカッション形式が斬新な研修会でした。

6) 中国四国支部

- (1)平成28年2月13日(土)、第4回研修会、会場:徳島大学5F日亜ホール
テーマ:「神経生理検査を楽しもう！」講演とハンズオン
講師:野寺裕之先生(徳島大学神経内科)等

7) 九州沖縄支部

- (1)平成27年12月12日(土)、第13回講演会、会場熊本機能病院南館中ホール
テーマ:「礎」

3. その他事業

特記なし

【 IV平成 27 年度 監査報告 】

[監査報告書]

平成 28 年 9 月 11 日

日本神経生理検査研究会
会長 高橋 修 殿

平成 27 年度の監査を実施しましたので下記の通り報告します。

会計監査 水野久美子 (印)

記

1. 会務について、事業計画を円滑かつ確実に遂行されていることを認めます。
2. 会計について、会計収支に不正なく現金および通帳等は正確に整っていることを認めます。

2号議案

平成28年度事業計画案および予算案(H28. 4. 1~H29. 3. 31)

【 I. 事業計画 】

1. 組織、運営に関すること

- 1) 会員が神経生理検査の質向上に寄与し、社会に広く認知されるように本会の組織のさらなる活性化および人材育成を行っていく。
- 2) 会員の情報交換の場として活用されているメーリングリストの適切な運営と、さらなる充実を図る。
- 3) 支部活動の充実を図るための援助を行う。
- 4) 年1回の総会を電子総会として開催する

2. 学術関連における他団体との連携に関すること.

- 1) 本会が主催する全国研修会を開催する。
- 2) 日本臨床衛生検査技師会や日本臨床神経生理学会は、認定制度や生涯教育における従来の交流を継続するとともに、新しい制度や検査項目などの情報を収集する。
- 3) 専門学会との交流は、臨床検査技師が関わる日本臨床神経生理学会を中心とするが、神経学会や末梢神経学会などの新規の団体などの交流も視野に入れて、研究会の充実と会員の利便性を図る。
- 4) 日本臨床神経生理学会が主催する、術中脳脊髄モニタリング委員会やセミナー、脳波セミナー・アドバンスコース委員会やセミナーなどの専門技術交流が図れる団体等には積極的に情報交換を図り、会員の技術育成に関与する。

3. 表彰事業に関すること.

会員のモチベーションの上昇を考慮し、表彰制度を推進する。
対象とする論文は、前年度に発表された論文について表彰委員が吟味し推薦する。
自薦他薦を問わず広く募集いたします。

【 II. 学術活動 】

1. 全国主催

平成29年1月28日(土)、第21回研修会、会場:久留米大学築水会館

講義1 『睡眠検査について(仮)』 小川 清司技師(福岡浦添クリニック)

講義2 『術中モニタリングにおけるアーチファクトへの対応』 丸田 雄一技師(Brain Function)

特別講演1 『脳波判読の秘訣』 赤松 直樹先生(国際医療福祉大学福岡保健医療学部教授
福岡山王病院脳神経機能センター神経内科)

特別講演2『神経伝導検査でわかること』 有村 公良先生(医療法人三州会大勝病院 院長)

2. 支部主催

1) 北海道支部

- (1) 平成28年9月17-18日(土日)、第63回勉強会(第20回宿泊研修セミナー)、会場:遊湯 ぴっぷ
テーマ:臨床脳波検査～基礎から実践まで～
講義1:「脳波検査の基礎と実際」;小川優司技師
講義2:「新生児の脳波(PSG検査も含む)意義と検査法」、「小児脳波の検査と正常波形」;石郷景子技師
ナイトセミナー1(実技講習会)、ナイトセミナー2(症例検討会)、ナイトセミナー3
講義3:「発作時脳波検査、病室での脳波検査の注意点」;石郷景子技師
- (2) 平成29年2月頃 第64回勉強会 予定

2) 東北支部

- (1) 平成29年3月11日(土) 支部研修会 会場:東北大学「脳波ハンズオン」を中心に開催予定

3) 関東甲信越支部

- (1) 平成28年9月25日(日) 第27回研修会、会場:日本光電フェニックスアカデミー
テーマ:『一歩踏み出そう、電気生理を究めるために!』～聞くだけじゃない、参加型研修会に参加しよう
講義1:教えてホッシー ～CMAPとSNAPの成り立ち～ ;星野 哲 技師
講義2:神経疾患と脳波検査 ;平田 幸一 教授
講義3:グループディスカッション;①脳波コース ②神経伝導検査コース
- (2) 平成29年2月26日(日) 第28回研修会 誘発電位実技講習会(ハンズオン) 予定
会場:日本光電フェニックスアカデミー

4) 中部支部

- (1) 平成28年10月8日(土) 第26回研修会、会場:名古屋市立大病院11F講義室
症例提示1「脳波検査」;藤井 忍技師
症例提示2「当院で経験した術中モニタリング(整形外科領域)」;西脇 啓太技師
講演 「神経生理検査に必要なMEの基礎知識」;佐野 仁会員
特別講演「神経生理検査をおこなう前に」;正門 由久 教授
- (2) 平成29年3月中旬 第27回中部支部勉強会 予定

5) 近畿支部

平成29年3月頃 第5回近畿研修会 準備中

6) 中国・四国支部

平成28年12月17日(土) 第5回中四国研修会、会場:鳥取大学
詳細が決定しましたら、メーリングリストやホームページにてお知らせ致します。

7) 九州沖縄支部

- (1) 平成28年4月23日 第1回九州支部実技講習会
平成28年4月14日に発生した熊本大地震により延期から中止としました。
- (2) 平成29年1月28日 第21回全国研修会へ共催として開催を準備中

【 Ⅲ. 会員表彰 】

会長賞:山本雅史会員(北海道大学病院検査・輸血部)の研究に対して会長賞を贈り表彰いたします。
推薦理由『希少な症例を数多く集めてまとめたものであり、今後も参照できる貴重な論文である』
対象論文;「脊髄動静脈瘻手術における術中MEPモニタリングの有用性」
山本雅史 et al. 脊髄外科 29(1): 42-46, 2015
表彰状および副賞(1万円)の贈呈。

【Ⅱ. 平成28年度予算計画書】

H28 年度収支予算書 (H28. 4. 1～H29. 3. 31) H28 年度納入会員 452 名 単位 (円)

収入の部	前年度決算	予算	予算明細
1. 会費	660,000	600,000	年会費、入会金(見込み) : 複数年度会費納入も含む H28 年年会費¥1000×550人、入会金¥1000×50人
2. 事業収入	194,000	270,000	H28 年度 21th 全国研修会参加費 会員¥3000×40、非会員¥5000×30名
3. 雑収入	237	200	利子
1. 2. 3. の小計	854,237	870,200	
4. 前年度繰越金	607,377	607,377	
1. 2. 3. 4の合計	1,461,614	1,477,577	

支出の部	前年度決算	予算	予算明細
1. 事業費	893,822	990,000	
H25 年度全国研修会 運営費(参加費)	194,000	270,000	講師料¥30000×2、¥10000×2、講師交通費(+宿泊費) ¥50000、講師懇親会費¥2,0000、会場費¥30000、印刷 代諸経費¥50000、実務委員活動費(6) ¥50000、総会事 務費(6) ¥350000、飲食費¥20000、
全国研修会補助	303,907	380,000	
熊本地震義援金	0	55,000	¥100×550名
表彰	0	10,000	
会員名簿発行・配布	98,915	0	H28 年度は発行せず
支部活動補助金	297,000	275,000	¥500×550名
2. 事務費	52,361	53,000	
会議費	30,000	12,000	¥2000×6
通信費	12,000	6,000	
執行部行動費	0	10,000	
消耗品費	10,361	20,000	
案内通信費	0	5,000	
予備費	0	0	
3. 支出小計	946,183	1,043,000	(1.) + (2.)
4. 次年度繰越金	607,377	434,577	
合計	1,553,560	1,477,577	

3号議案 平成28年度年役員信任案

日本神経生理検査研究会役員案 (下線は今年度より新役員)

1. 執行部役員

会長	高橋 修	(慶應義塾大学医学部)
副会長	片山 雅史	(国際医療福祉大学)
副会長	石郷 景子	(大垣市民病院)
事務局長	瀬川 義朗	(自宅)
会計	<u>三浦 祥子</u>	(東北大学医学部保健学科)

2. 支部代表者

北海道支部	高柳 由佳	(釧路孝仁会記念病院)
東北支部	<u>板倉 毅</u>	(福島県立医科大付属病院)
関東甲信越支部	谷中 弘一	(獨協医科大学日光医療センター)
中部支部	田中 夏奈	(小牧市民病院)
近畿支部	佐々木 一朗	(神戸市立医療センター中央市民病院)
中国・四国支部	<u>高松 直子</u>	(徳島大学病院)
九州沖縄支部	八木 和広	(潤和会記念病院)

3. 評議員会(順不同・敬称略・執行部役員および支部長) 12名

高橋 修	(慶應義塾大学医学部)
片山 雅史	(国際医療福祉大学)
石郷 景子	(大垣市民病院)
瀬川 義朗	(自宅)
<u>三浦 祥子</u>	(東北大学医学部保健学科)
高柳 由佳	(釧路孝仁会記念病院)
<u>板倉 毅</u>	(福島県立医科大病院)
谷中 弘一	(獨協医科大学日光医療センター)
田中 夏奈	(小牧市民病院)
佐々木 一朗	(神戸市立医療センター中央市民病院)
<u>高松 直子</u>	(徳島医大病院)
八木 和広	(潤和会記念病院)

4. 会計監査

水野 久美子	(名古屋市立大学)
--------	-----------

5. インターネット運営委員および事務局

瀬川 義朗	(自宅)
<u>和田 晋一</u>	(香川県立保健医療大学保健医療学部)

6. 表彰推薦委員 (順不同・敬称略)

片山 雅史	(国際医療福祉大学)
丸田 雄一	(山口大学)